



そととまり

SOTOTOMARI

Glamping Project

グランピング施設開設のご提案



そととまりとは

自然を遊びつくせ

自然と四季と地方を楽しむグランピング施設

そととまりとは四季折々の魅力を有する地方を舞台に
グランピング × 地方の力を掛け合わせた宿泊体験を提供するサービスです。

海や川、山や農地など様々な環境の魅力を伝え
「ここで」しか体験できないを提供していきます。





Glamping

グランピングで土地活用

グランピングプロジェクトは、全国に点在する魅力ある地域をグランピングを

通して発信していくというコンセプトの元誕生いたしました。

遊休地として活用しきれていない土地×グランピングで

地方創成・多くの地元の方に喜んで頂ける事業です。

/ グランピング導入スキーム

既存の旅館やホテル・温泉施設などの遊休地の状況に合わせた、最適なお提案を致します。

遊休地オーナー様の**グランピング導入費用は0円**です。

旅館・ホテル・温泉施設など遊休地

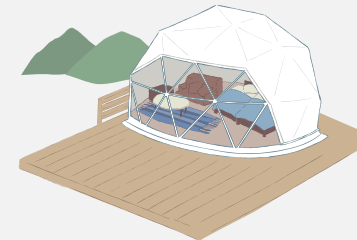


- ①グランピング施設の設置
- ②家賃/業務委託費/食事代金等支払い



- ①土地貸し出し
- ②運営業務請負

弊社



宿泊・ホテル・温泉施設のオーナー様は、既存施設や自社保有の土地や空きスペースの貸出をして頂き弊社が提供するグランピング施設の設置・導入を致します。

設置に係る業務や費用などは一切必要ありません。また、運営業務に関しても簡単な運営業務のみとなります。

/ 遊休地オーナー様のメリット 01



宿泊・温泉施設に無料で設置。
場所のご提供のみで収益拡大へ

宿泊施設や温泉施設の空きスペースをお借りして、グランピング施設を設置致します。
設置に必要な費用は全て私どもが負担をする為、無料でグランピング施設を導入することが可能であり、人気設備の導入による収益拡大が期待できます。

POINT

- ✓ グランピング施設が無料で導入可能
- ✓ 家賃収入＋事業委託費で収益拡大
- ✓ 新規顧客層の獲得

/ 遊休地オーナー様のメリット 02



土地の活用法は千差万別 あらゆる土地を有効活用

グランピングは自然豊かな田園風景を感じられる場所はもちろん、海や川、山に都市など、あらゆる環境に適応できる宿泊施設となります。

王道のグランピング施設の開設から、特殊な施設の形まで幅広いご提案を致します。

POINT

- ✓ 旅館・ホテル・温泉施設の遊休地
- ✓ 道の駅や観光地付近の遊休地
- ✓ 山林・耕作放棄地・都市部の遊休地・海/川付近の土地

/ 遊休地オーナー様のメリット 03



大人気のグランピングを導入 新たな顧客獲得・地方創成

半年先まで予約が埋まるグランピングは、新たな顧客獲得に向けた大きな武器となります。

グランピング導入をきっかけに、既存施設や周辺地域の魅力を伝え、新たな収益モデルや顧客獲得を実施する事が可能です。

POINT

- ✓ 客層の拡大
- ✓ 既存施設の魅力を伝える事が可能
- ✓ 町おこしや地方創成に活用可能

遊休地のご提供(賃貸)をして頂きますオーナー様には以下の様な収益を得る事が可能です。

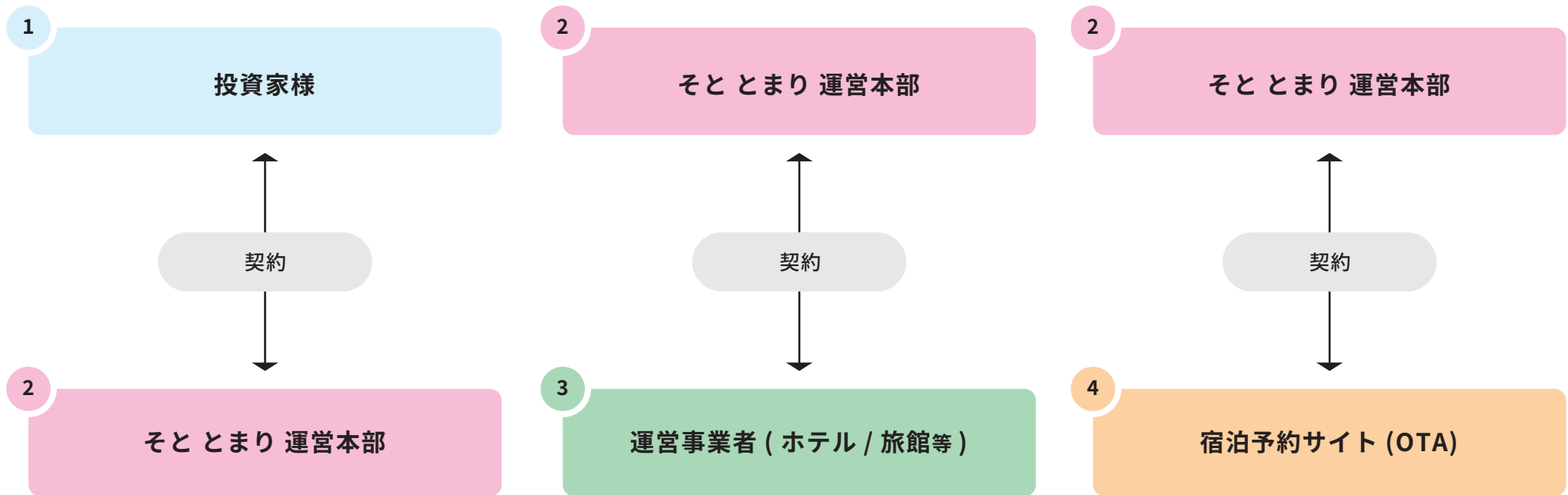
※収益項目

- ・地代家賃
- ・業務委託費(受付/清掃等)
- ・食事委託費(BBQ等)
- ・消耗品/備品(歯ブラシ/タオル等)

収益は立地や付帯設備・利用可能サービスなどにより変動致します。

上記金額はその一例となりますので、詳細は弊社スタッフまでお尋ねの上、ご確認下さい。

事業スキーム



①②間の契約について：

運営収入については OTA 手数料、委託費等の経費を差し引いた金額を投資家様へお支払する形となります。

投資家様へご紹介する案件については②③間ですべて委託契約済みとなります。

・弊社とホテル・旅館様の委託契約につき、特に投資家様側が関与する点はありません。

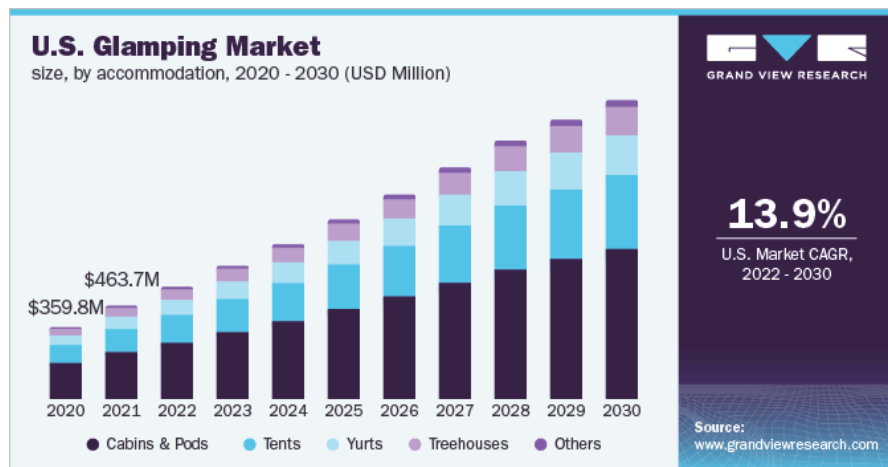
投資家様へご紹介する案件については②④間ですべて契約済みとなります。

・弊社と OTA サイトとの契約につき、特に投資家様側が関与する点はありません。
・弊社独自の集客、予約サイトの整備を 2023 年 4 月より運営開始致します。



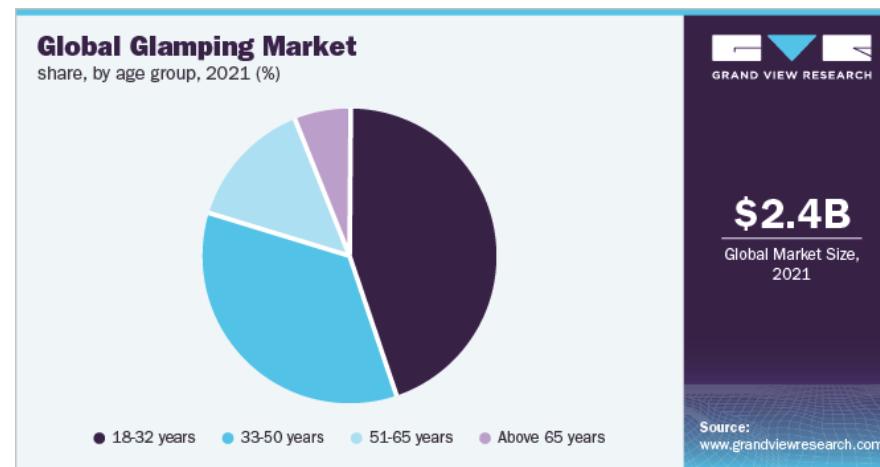
世界市場と日本市場の成長性

グランピングはヨーロッパが発祥であり、ヨーロッパもアメリカも日本より約10年ほど市場が進行しています。その欧米でも、未だに二桁成長を続けており、**追従する日本のグランピング市場は恐らく10年程度は同様に成長する**と見込めます。



▲図は、アメリカ国内のグランピング市場予測 (2021年で4億6370万ドル)

GRAND IEW RESARCHによると、2021年の世界のグランピング市場規模は**23億5000万ドル**とされており、2022～2030年に**10.9%の年間成長率**で成長すると予測されています。



▲図は、世界のグランピング利用者層

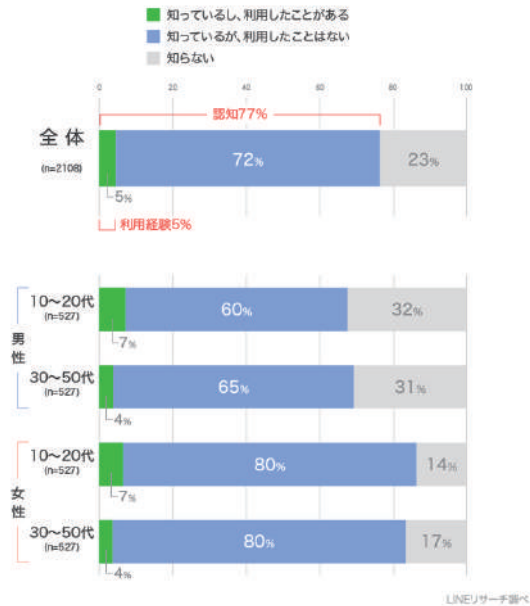
GRAND IEW RESARCHによると、2021年の世界のグランピング市場の利用者層は、18歳-32歳のミレニウム世代が44.5%の市場を占めています。また、市場拡大に伴い、差別化・高級志向などのキーワードが拡大し、比較的余裕のある33歳-50歳の世代のシェアも大きくなってきており、市場の成長へと後押しをしております。



日本のグランピングの現状

日本では 2015 年安芸に大手リゾートチェーンがグランピング施設を開業した事から、「グランピング」というカテゴリーが確立し、昨今のブームが到来しました。拡大する日本グランピング市場は、2023 年までに約 1000 億円の市場まで成長するとされています。

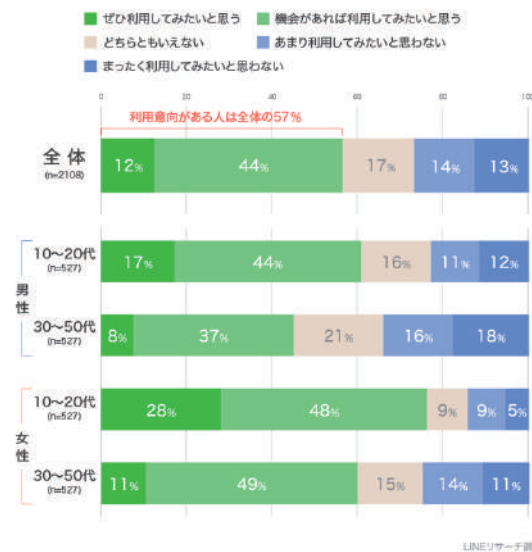
グランピングの現状



▲図は、日本国内のグランピングの認知度調査結果

LINE リサーチによると、グランピングの認知度は全体で 77% で、その内の利用者は全体の 5% となっています。

今後の利用意向



LINE リサーチによると、現在は 5% 程度の利用者となっていますが、今後の利用意欲調査では、全体の約 60% が利用したいという結果になっています。

グランピングの今と1年後

	全体 (n=2108)	男性 10~20代 (n=527)	男性 30~50代 (n=527)	女性 10~20代 (n=527)	女性 30~50代 (n=527)
認知 (%)	76.5	67.6	69.4	86.4	83.5
利用経験 (%)	4.6	7.2	3.9	6.6	3.7
利用意向 (%)	56.5	60.8	45.1	76.3	60.0
流行体感スコア	8.9	9.2	7.0	13.6	9.0
流行予想スコア	23.5	22.6	19.2	30.5	25.8

LINEリサーチ調べ

LINE リサーチによる現在の認知度・利用者数や今後の利用意欲などを数値に纏めた結果、**1年後という短期間で2倍以上伸びる可能性**があるという事が伺えます。

そととまりは

グランピングの普及を通して

まち・ひと・しごとの創成を実現します。